

令和 8 年 5 月 21 日

社員の幸せ起点に成長する企業の「人・組織の状態」の 共通点と多義性・多様性を明らかに

～BE THE LOVED COMPANY REPORT 4.0 を作成～

- 近畿経済産業局では、人を価値創出の源泉と捉えて、社員の幸せを最大の目的とする企業の経営実践を調査する「BE THE LOVED COMPANY PROJECT」を令和 4 年度から推進しています。
- 令和 7 年度は、これまで暗黙知的であった「人(社員)の幸せを中心に据えた経営」の実態を定性・定量の両面から捉えるために、人的資本相関可視化ツール(ver.1.0)の開発に取り組みました。
- 当該ツールを用いて、モデル企業 10 社を調査した結果、人・組織の「いい状態」を組成する指標(勘所)同士の相関関係が明らかになったほか、経営アウトプット指標から、労働生産性の低下や採用難などの構造的な課題から脱却している可能性が確認されました。

1. 背景・取組の概要

人手不足の常態化をはじめとした地域の中堅・中小企業を取り巻く環境変化に対応するため、企業の「稼ぐ力」の向上が不可欠です。こうした状況下において、経済産業省では、人を付加価値創出の源泉と捉える「人的資本経営」の普及等により、企業の付加価値向上を推進しています。

近畿経済産業局では、「人(社員)の幸せを中心に据えた経営」を人的資本経営の一つの形と捉え、70 社超の中堅・中小企業の協力のもと、「BE THE LOVED COMPANY PROJECT」を実施してきました。

非上場の中堅・中小企業の「人的資本」に関する情報は、法に基づく開示義務の対象外であることなどから、企業の実践に結びつきにくく、実践事例やその効果が可視化されにくい側面がありました。

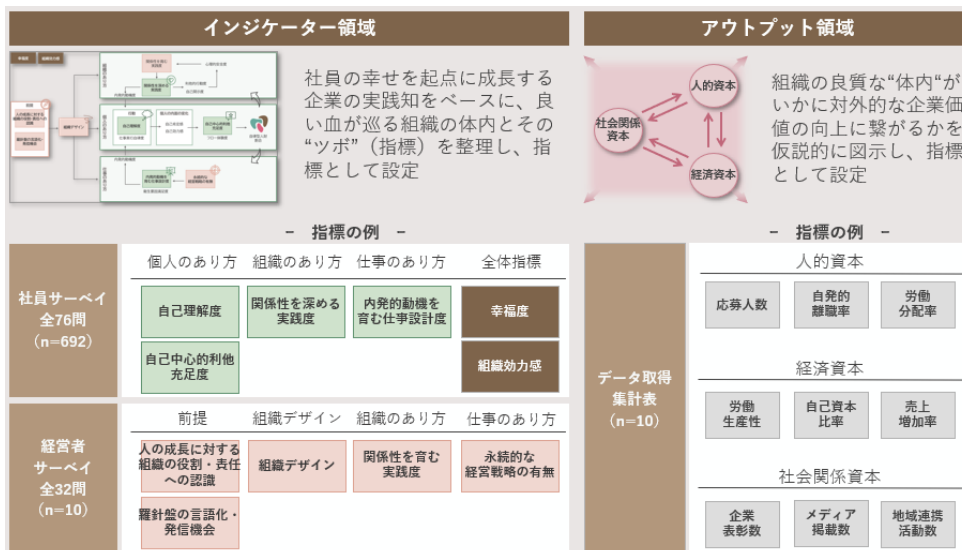
そうした状況も鑑みて、令和 7 年度は、自社の「状態」を捉えられる人的資本相関可視化ツール(ver.1.0)の開発、およびモデル企業 10 社の調査・分析を行い、共通点や多義性・多様性に関する探求を実施した結果をレポートにとりまとめました。

2. 成果物(REPORT 4.0)のポイント

■BE THE LOVED COMPANY を志向する企業の道標たりうる

人的資本関連可視化ツール開発・調査

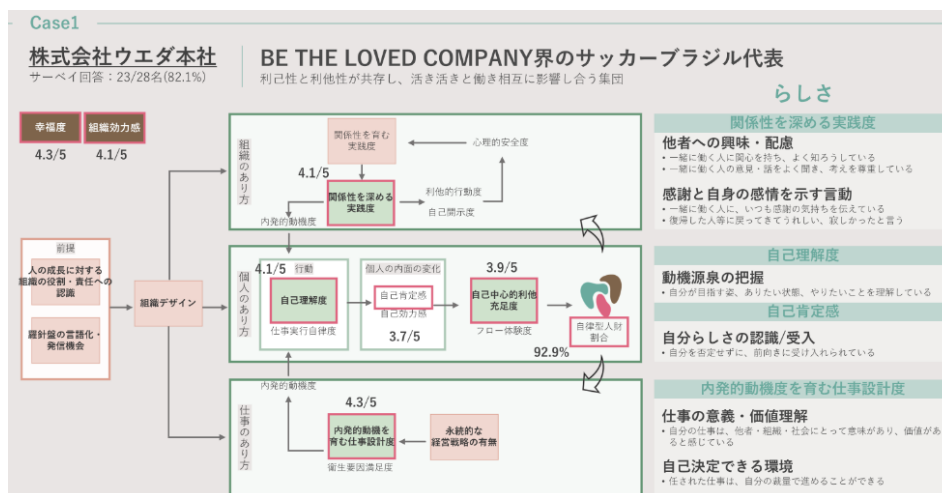
- 自社の現在地を把握し、内省や対話につなげるための“道標”となることを目的として人的資本関連可視化ツール(ver.1.0)を開発しました。(P17～P27 参照)



- 開発したツールを用いて、モデル企業 10 社 (P28 参照) の協力の下、定性・定量の両面から共通点と多義性・多様性について調査・分析を行いました。
 - “社員サーベイ”の結果から、「組織のあり方」や「仕事のあり方」が、社員一人ひとりの幸せや成長に関わる多くの指標と広く正の相関を示すことを確認。(P31～34 参照)
 - アウトプット指標においても、経済資本、人的資本の側面で、中小企業一般の値を上回っていることを確認。(P40 参照)

経済資本	<p>労働生産性 (社員一人ひとりの付加価値)</p> <p>モデル企業 (前期: n=9)</p> <ul style="list-style-type: none"> 中央値: 781万円 (平均値: 861万円) <p>中小企業一般</p> <p>財務省「法人企業統計調査年報」(2024年度データ)</p> <ul style="list-style-type: none"> 中規模企業約609万円/小規模企業約538万円 	<p>自己資本比率 (財務健全性 耐久力)</p> <p>モデル企業 (前期: n=10)</p> <ul style="list-style-type: none"> 中央値: 55% (平均値: 54%) <p>中小企業一般</p> <p>中小企業実態基本調査/令和7年速報 (令和6年度決算実績)</p> <ul style="list-style-type: none"> 約45%程度
	人的資本	<p>応募倍率 (人材獲得への寄与)</p> <p>モデル企業 (前期: n=6)</p> <ul style="list-style-type: none"> 平均値: 10.8倍 (中央値: 9.5倍) <p>中小企業一般</p> <p>2024年版中小企業白書から (株) 帝国データバンク「中小企業の経営課題とその解決に向けた取組に関する調査」を参照</p> <ul style="list-style-type: none"> 「採用 (中途・新卒) に感じている課題」という問いに対し60%超の企業が「応募が少ない」と回答

- さらに、4社のモデル企業のサーベイ結果の概要をケーススタディとして示し、読み解き方にまで踏み込んで提示。(P46～61 参照)



3. 今年度以降の取組について

近畿経済産業局では、人的資本相関可視化ツール(ver.1.0)をアップデートし、こうした経営の道標として、より多くの企業や支援現場に拡げていくことを目指します。

また、本プロジェクトの共感・共鳴の輪をさらに広げ、関西を起点に日本の中堅・中小企業における人的資本経営の実践と浸透を実現して参ります。

(参考) 関連リンク

近畿経済産業局 HP (BE THE LOVED COMPANY PROJECT - 社員に、顧客に、地域に、社会に「愛される」会社になろう -)

<https://www.kansai.meti.go.jp/1-9chushoresearch/lc/lovedcompany.html>

(本発表資料のお問い合わせ先)

近畿経済産業局 総務企画部

中小企業政策調査課長 小谷

担当者: 作野、浜田、田中

電話: 06-6966-6057

メール: bz1-kin-chushokigyoseisaku@meti.go.jp